

## 平28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	J Cカップジュニアカーリング大会事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人軽井沢青年会議所 0267-46-1445
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,287,694 円 (うち支援金： 1,586,000 円)

### 事業内容

軽井沢町・御代田町にはともにカーリング場があることから、青少年のカーリング技術向上とカーリングを通じての地域おこしを目的として、カーリング大会、講習会、セミナーを実施。

#### ●JCカップジュニアカーリング大会

：8月6日～7日軽井沢アイスパーク 16チーム参加

・初心者講習会 8月7日 14名参加

#### ●現役トップ選手によるカーリング講習会

：8月15日～18日軽井沢アイスパーク

30名参加

#### ●オープンセミナー

：10月22日エコール御代田あつもりホール

約220名参加



【大会集合写真】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①初心者講習への参加者が予定より少なかったが、参加した子どもたちは、実際にリンクに立ちストーンとスティックに触れ、また、実際の競技を間近で見学することができた為、カーリングへの興味が強くなった。
- ②カーリング大会を通じ、通常では対戦することのできない遠方チームと試合することで、普段とは違った緊張感の中、相手を尊重した試合をすることができた。
- ③カーリング講習会にて、チームワークの重要性を認識し、普段の技術面のトレーニングだけではなく、メンタル面においても、学ぶことができ、今後の新たな課題を発見することができた。
- ④講演内容を聞くだけでなく、積極的な質疑応答により、実際の指導現場で活かせる内容を示してもらい、好評であった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き青少年のカーリング選手育成、及びカーリング人口を増やすことを継続的に行い、世界で活躍するカーリング選手がひとりでも多く育つことを願い、活動を続けていきたい。そして、まだ国内ではジュニアカーリング大会が少ないので、この大会がジュニアの大会としての確固たる地位を築き、カーリングとして有名な軽井沢として、国内へ、そして世界へと繋げていく。

### 【目標・ねらい】

- ①カーリング人口の増加
- ②青少年の健全な精神性の育成
- ③青少年のカーリング技術向上
- ④指導者の指導力向上

### ※自己評価 【B】

#### 【理由】

- ・大会参加チームは前回の11チームから16チームに増えたが、初心者講習の参加者が少なかった。
- ・カーリング講習、オープンセミナーともに、目的とした参加対象者が多く集まり、十分な成果が見られた。